

安全上のご注意

必ずお読みください

本機を正しく安全にご使用いただくために、
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

警告表示の意味

「取扱説明書」には、本機を正しく安全にご使用いただくためにいろいろな表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載内容をお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うおそれがある内容を示しています。

注意をする必要がある内容を示しています。(警告を含む) 図の中に具体的な注意内容が描かれています。

注意

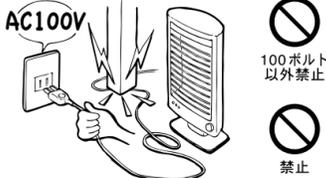
誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を与えるおそれがある内容を示しています。

禁止の行為を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

必ずしなければいけない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

警告

■ 交流 100V 以外の電源電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。



100ボルト
以外禁止
禁止

■ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードの上に重いものを載せない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードをねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

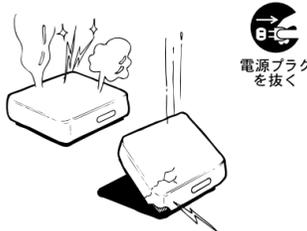
■ 電源コードを加熱したり、熱器具に近づけない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 付属の電源コード以外は使用しない
他の機器の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

禁止

■ 付属の電源コードを他の機器に使用しない
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■ 煙が出たり、におい、音などの異常が発生したら、
すぐに本機の電源を切り、電源プラグを抜く
異常状態のままの使用は火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による修理は絶対におやめください。



電源プラグ
を抜く

■ 落としたり、破損したときは、本機の電源を切り、
電源プラグを抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に連絡してください。

安全上のご注意

注意

■ 本機を湿気やホコリの多いところ、油煙や湯気などの
あたるようなところに置かない
火災・感電の原因となることがあります。

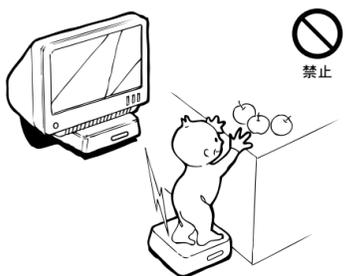


禁止

■ 通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に置かない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることが
あります。次の点にご注意ください。

- ・ 押し入れ・書棚・天井裏など風通しの悪い場所に置かない
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない
- ・ 逆さまにしたり、立てかけたりしない
- ・ テレビ台などに設置する場合、左右・後方に10cm以上、
上側に8cm以上の間隔をあける
- ・ DVDレコーダー、ビデオデッキなど発熱する機器と重ねない

■ 本機の上にものをせない
通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、火災や故障の
原因となることがあります。



禁止

■ 本機の上に重いものをのせない
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの
原因となったり、本機の破損の原因となることがあります。

■ 本機の上に乗らない
バランスをくずして転倒したり、本機が破損したりして、
けがの原因となることがあります。

■ 温室・サンルームのような、高温で湿気が多い場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが損傷し、火災・感電の原因となることが
あります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。

■ 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や、電気工事店に交換を依頼してください。

■ お手入れのときは、電源プラグを抜く
感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグ
を抜く

■ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
火災の原因となることがあります。

■ 移動させるときは、接続されている線をすべて外す
機器間の接続線を外さずに移動すると、電源コードが
傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

接続線を外す

■ 電源コードを結んだり、束ねて使用しない
発熱し、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

警告

■ 本機に異物を入れない
通風孔などから燃えやすいもの、金属類などの異物を入れると、
火災や感電の原因となります。



禁止
水ぬれ禁止
電源プラグ
を抜く

■ 本機の近く、上に花瓶など水の入ったものをおかない
水が中に入ると、火災や感電の原因となります。

■ 内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、
電源プラグを抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に連絡してください。

■ 風呂やシャワー室で使用しない
火災・感電の原因となります。



禁止
風呂、シャワー室
での使用禁止

■ 本機を不安定な場所に置かない
落下するなどして、けがの原因となります。

■ 本機を分解したり、改造したりしない
本機の内部にはさわらないでください。
火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店に依頼してください。



分解禁止

■ 電源プラグにホコリや異物が付着しているときは、
プラグを抜いて乾いた布で取り除く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



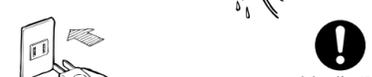
ホコリを取る

■ ぬれた手で電源コード・電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。



禁止

■ 電源プラグは確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱したり、ホコリが付着
して、火災・感電の原因となります。



確実に差し込む

■ タコ足配線をしない
火災・感電の原因となります。



禁止

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源コードには触れない
感電の原因となります。



禁止

■ 電池を乳幼児の手の届く場所におかない
電池を飲み込むと、窒息や障害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



接触禁止

■ 電池の液が漏れたときは、素手でさわらない
皮膚の炎症、失明やけがの原因となります。
液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
目に入った場合は、ただちに眼科医に相談してください。

■ 電池の廃棄は地域の規則に従う
使用済みの電池は、地方自治体の条例、または規則に
従って処分してください。

イラストはイメージです

注意

■ リモコンの電池はプラスとマイナスの向きに注意し、
機器の表示どおりに正しく入れる
間違えると電池が破裂したり、液もれしたりして、
火災、けがややけど、周囲を汚染する原因となることがあります。



表示通りに
入れる

■ リモコンには、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
電池が破裂したり、液もれしたりして、火災、けがや
やけど、周囲を汚染する原因となることがあります。

禁止

■ 長期間使用しないときはリモコンの電池を取り出す
電池が液もれしたりして、故障・火災・けがややけど、
周囲を汚染する原因となることがあります。

厳守

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要です
販売店にご相談ください

- ・ アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
- ・ アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因となる場合があります。
- ・ アンテナは強風の影響を受けやすいため、しっかりと取り付けてください。
- ・ アンテナは雷雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。
- ・ 映りが悪くなったときは、販売店、電気工事店に相談してください。

イラストはイメージです

B-CAS カード取扱い上のご注意

- 折り曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、濡れた手でさわったりしないでください。
- IC (集積回路) 部には手を触れないでください。
- 分解、加工を行わないでください。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。
- B-CAS カードを抜く場合は、電源プラグを抜いてから、ゆっくりとB-CAS カードを抜いてください。
- 裏向きや逆方向でB-CAS カードを挿入しないでください。
- 挿入方向を間違えるとB-CAS カードは機能しません。

B-CAS カードについては、B-CAS カスタマー
センター (Tel 0570-000-250) にお問い合わせ
ください。



故障かな?と思ったら

- アンテナを正しく接続する
- B-CASカードを正しく入れる
- テレビとチューナー両方の電源を入れる
- テレビの画面を切り換える
(テレビによって「ビデオ1」「入力2」など表示がちがうので、チューナーをつ
ないだ端子の表示にする)
- 電源を入れたり、テレビ画面を切り換えた直後は、映像表示に時間がかかります。
- チューナーDIR910本体中央のランプが赤色で付いたり消えたりしているときは、
そのまま待つ。故障ではなく情報取得 (ソフトウェアのダウンロード) 中です。
電源コードを抜かないでください。途中で抜くと故障の原因になることがあります。
- テレビの音の大きさをかえる
(テレビの音量ボタン「+」などを押す、消音ボタンを押す)
- テレビ電源/入力切換/音量/消音ボタンを押すときはリモコンをテレビにむける
- リモコンをチューナーにむける
(テレビ電源/入力切換/音量/消音ボタン以外のボタンを押すとき)
- テレビやチューナーに直射日光など強い光を当てない
- 裏面の「リモコンの準備」を見て、電池を新品にかえる

映らない・音がでない
で音がでない
リモコンで動かない